

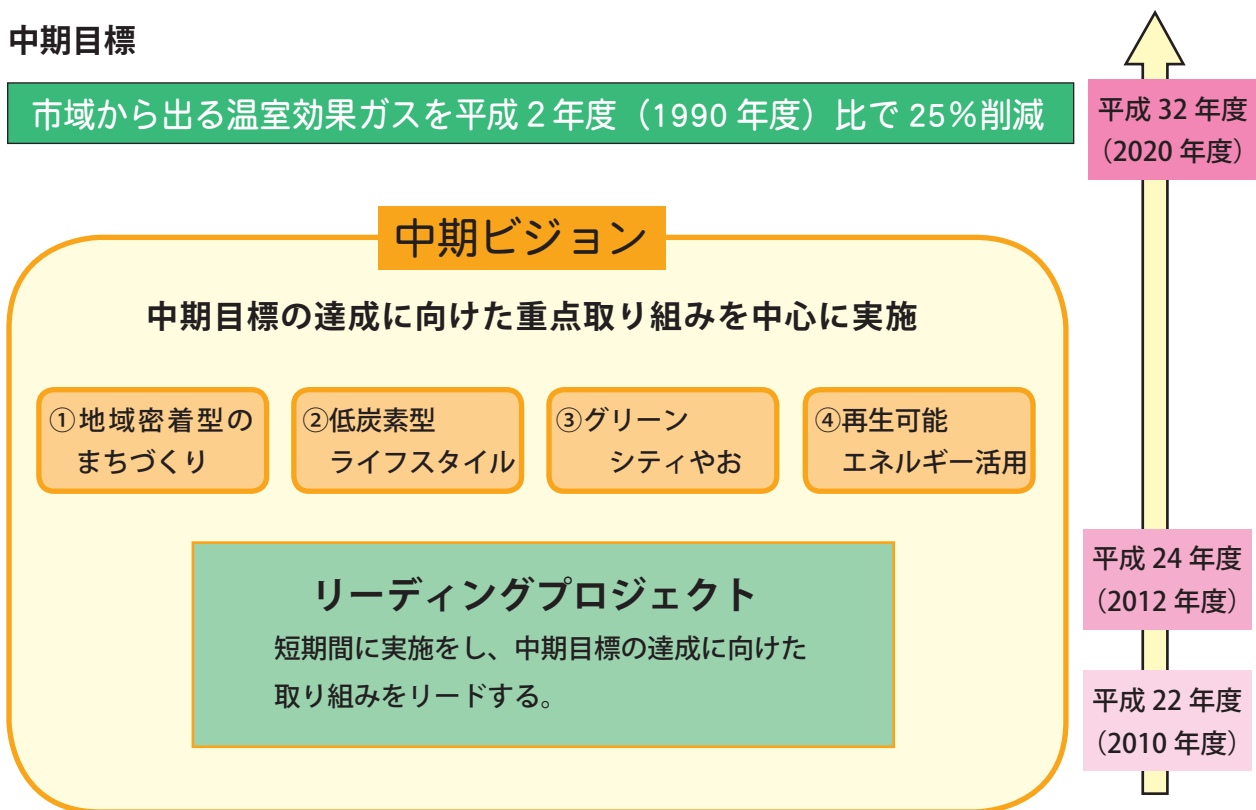
第4章 中期ビジョン

第3章で示した平成32年度（2020年度）（中期目標年度）の温室効果ガス排出削減目標を達成するため、中期的な視点を持って取り組み、重点取り組みごとに目標を達成し、それを積み上げることで中期的な目標を達成するに至る道筋を示すものとして、中期ビジョンを策定しました。また、中期ビジョンは、八尾市の地域特性や課題等を考慮し、環境、経済、社会の各分野への波及効果が大きい事業、活動を優先的に抽出して策定しました。

なお、中期ビジョンにおける重点取り組みを率先して実行するため、平成21年（2009年）9月に設置した「八尾市地球温暖化対策実行計画策定市民会議」において、市民、事業者が中心となって取り組むことのできる内容について検討を行いました。平成24年度（2012年度）を目処として短期的に効果が見込める事業をリーディングプロジェクトとして定め、市民、事業者、八尾市が協働して実行します。

図4-1 中期ビジョンの概要と目標

中期目標



(1) 重点取り組み（中期目標の達成に向けて）

中期ビジョンとして構成される4つの重点取り組みの概要については、以下のとおりです。

1) 地域密着型のまちづくり ～やおを知って、もっと身近に～

情報化の進展とともに、生活の利便性は向上しているものの、一方で、地域のつながりが少しずつ希薄化し、コミュニティのありかたを見直す必要性が出てきています。

そこで、地域で歩いていける範囲を生活圏と捉え、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりを目指し、地域密着型のまちづくりに取り組みます。

市民の足となる地域交通の充実と利便性の向上、自転車利用促進によって自動車に頼らずとも暮らせるまちづくり、また、魅力ある街並みや商店街の再生、地域コミュニティ内の資源の再発掘に取り組むことで、みんなが交流・連携し、にぎわうまちづくりを目指します。

重点取り組みにより期待される効果

- 魅力あるまちづくり
- コミュニティの再生や住みやすいまちづくり
- 商店街の活性化
- 自転車利用促進に伴う市民の健康増進

2) 低炭素型ライフスタイル ～つながり、ひろげる、やおスタイル～

大量消費のライフスタイルから脱却し、エネルギー効率の優れた機器への転換、省エネ行動の実施を市民に促すことで低炭素型のライフスタイルの定着化を図ります。

省エネ行動などはすぐにでもはじめることができる取り組みですが、確実な実行に繋げていくためには行動変容を促すための方策が求められます。そこで、個人が所属するコミュニティ（地縁組織、グループ、学校、職場など）を通じて家庭のライフスタイルの見直し、変化を促していきます。具体的にはコミュニティをベースに、情報提供、キャンペーン、教育、人材育成を行っていきます。

重点取り組みにより期待される効果

- 地域コミュニティの再生
- 地域人材の活用と登用
- コミュニティセンターなどの既存施設の有効活用

3) グリーンシティやお ～まちまるごと環境技術見本市～

八尾市は大阪を代表する「ものづくり」のまちであり、多くの製造業事業所が集まっています。中小企業は高い技術力を持っていますが、環境配慮型の取組みについてはまだまだ不十分な面も多いと考えられます。そこで、まずは事業所、工場でのエネルギー利用の効率化や設備導入を促すKESの普及に取り組めます。

また、企業がこうした取組みを進めるためのメリットとして、無料省エネ診断や企業間あるいは企業と市民の気軽な情報・意見交換の場を設けるなど、気軽に参加・実施できる仕組みの整備に取り組めます。

さらに、地域での雇用創出や新たなビジネスチャンスの拡大のために、例えば市場拡大が期待される太陽光発電や燃料電池など、環境関連技術の開発と導入に取組み、さらに八尾市の各所で技術力をPR・発信していきます。

重点取組みにより期待される効果

- エネルギーコストの節約
- 省エネルギービジネスの創出
- さらなる企業の誘致

4) 再生可能エネルギー活用 ～まちの資源を再発見！～

再生可能エネルギーは最も有効な温暖化対策の一つです。そのため都市部においてもその徹底的な利活用を図っていくことが求められます。そこで八尾市内でも、まちなかで活用できる再生可能エネルギーの開発と活用に取り組んでいきます。

具体的には家庭や事業所、公共施設への太陽光発電の導入を進めるとともに、市内を流れる河川を利用した水路式の小水力発電や、家庭や飲食店などから発生する生ごみや街路樹の剪定枝などを利用したバイオマス発電、廃食油を用いたバイオディーゼル燃料の活用などの未利用エネルギーの活用など、様々な可能性について調査・検討を行います。

重点取組みにより期待される効果

- 地域エネルギー資源の有効活用による地域の活性化
- 地域のエネルギー自給率向上による災害時リスク低減
- 太陽光発電などの普及拡大に伴う地域内での仕事の拡大

(2) リーディングプロジェクト（短期目標期間に実施）

重点取り組みを率先して実行する内容は、以下のとおりです。

1) 地域密着型のまちづくり ～やおを知って、もっと身近に～

①市民参加型地域交通のあり方検討

地域が主体となって運行するバスなどや、大学や病院の送迎バスの活用なども含めた多様な運行方法について検討します。まずはニーズの高い路線や他地域の事例などを調査し、その上で段階的に市民参加・主導によるワークショップを開催するなど、地域に応じた交通のあり方について検討します。

②エコマップづくり

地域産野菜の販売店や直売所、観光資源（高安山、遺跡など）、自転車利用に適した道などの地域資源について調査し、地図上にポインティングし、視覚化することでコミュニティ内での資源の有効活用や自転車利用の促進につなげます。また、作成したマップの有効活用を図ります。

③エコ通勤・エコ物流促進

自家用乗用車や自家用貨物からのCO2削減のために、企業と協力して「エコ通勤・出張・物流・立地」に向けた取り組みを行います。また、エコ物流についても関係企業との取り組みにより推進していきます。

2) 低炭素型ライフスタイル ～つながり、ひろげる、やおスタイル～

①地域コミュニティ単位での「（仮称）省エネ井戸端会議」の開催

町内会や自治会、商店主会、女性会、福祉委員会、保護者会、子ども会、事業所、社会福祉団体、大学サークルなどのコミュニティグループを対象に、省エネ井戸端会議を開催します。省エネ井戸端会議では、お互いの節約術に関する情報交換や専門家による診断・アドバイスなどを実施します。グループで定期的を開催することで参加者間の取組みの継続とステップアップを促すことにつなげていきます。

②一斉行動「（仮称）もったいないでー（Day）やお」の実施

1年に2回程度（夏・冬）、市域全体で一斉にエコライフ行動に取り組む「もったいないでー（Day）」を設けます。「もったいないでー（Day）」の実施にあたっては、小学校や地域コミュニティ、事業所などを通じて行動メニューを配布し、それぞれが決めたメニューに取り組めます。まずは、一定の地域やグループから取組みをスタートさせ、徐々に市域全体へと広がっていきます。

③ 「(仮称)もったいない やお」キャンペーンの実施

「もったいないでー (Day)」からのステップアップとして、1ヶ月間のエコライフに取り組む省エネチャレンジキャンペーンを実施します。昨年同月比に比べてどれだけ削減できたかを評価し、削減量・率に応じた副賞、参加者の中から抽選での参加賞の授与を行い、参加者の削減のモチベーションを高めることも検討します。

3) グリーンシティ やお ～まちまるごと環境技術見本市～

①八尾市版KESの普及促進

八尾版のKES環境マネジメントシステムを発足させます。このシステムは、八尾だけにとどまらず大阪府内のローカルスタンダードとして普及・発信を図っていきます。

その取り組み内容には、八尾独自の項目として、エコ通勤・物流なども加えていくことも検討します。

②業種別省エネルギー対策診断・アドバイス・窓口事業

八尾市版KESの開発普及の取り組みをベースに、業種別（金属加工業、印刷業、コンビニなど）省エネ対策について無料で診断・アドバイスを受けることができる体制づくりに取り組みます。

また、これらの診断・アドバイスとKESに関する情報や交流会の開催情報など、情報提供窓口を一本化（ワンストップ）することで、各企業の取り組みを継続・ステップアップさせていける環境作りを進めていきます。

③環境技術開発・交流の促進

電気自動車や省エネメーター、雨水タンクなどの製品開発や、太陽光発電・太陽熱温水器の設置などを含めた、環境関連技術の向上に取り組みます。そのための研修会の開催や、企業だけでなく市民も含めて誰でも気軽に参加できる環境関連技術に関する意見交換や技術提携、取引につながる交流会を開催します。

4) 再生可能エネルギー活用 ～まちの資源を再発見！～

①地域や家庭での雨水利用の促進

雨水利用による水道利用節減による省エネ・CO2削減効果、散水・地下浸透によるヒートアイランドの防止を目的として、家庭での雨水利用の促進に取り組みます。

あわせて雨水利用の効能を広くアピールするセミナーの開催なども検討します。

②廃食用油回収・バイオディーゼル化の検討

家庭・事業所からの廃食用油回収について検討してまいります。効果的効率的な回収方法、回収した油の用途などについて検討・試行し、独自の廃食用油の回収・再利用モデルの構築を目指します。事業の検討には、バイオディーゼル事業に取り組むNPO

組織等が中心となって、様々な機関と連携しながら、実施に向けた検討を行います。

③商業施設や準公共施設での地域共同発電所

市内での太陽光発電の拡大のために、公共施設への率先導入を進めるとともに、商店街や準公共的な施設（教育施設、福祉施設など）への市民・地域共同による太陽光発電の設置を検討します。設置にあたっては、地域通貨を活用するなどして市民の参加を促すことで地域の活性化につながる取組みを目指します。

④太陽光発電促進のための手引きの作成

市内家庭への太陽光発電の設置を進めるために、八尾市内での太陽光発電設置の際の発電電力量や経済性、設置の手順、補助金情報、よくある質問（FAQ）などについてまとめた手引きを作成し、個人家庭での太陽光発電の設置をサポートします。また、太陽光発電の設置トラブルを未然に防ぐために、施工業者の優良業者登録制度についても検討します。